

## 神の国の奥義(19)

=人となられた神④=

### 御言葉:ヨハネ2:13-25

- ① イエス、エルサレムに上る(13節):エルサレムは宗教の都(cf.マラキ 2:1-9)
- ② 商売人・両替商をパージ(14-18節):この商売はユダヤ教と言う宗教に絡んだもの→今日も同じで、キリスト教商売をする者が増えている(例:米国のメガチャーチ・ビジネス)。私たちは誰かの用意した捧げ物を、その人から買い受ける必要はない、キリストこそその実体!(1ヨハネ 2:2、マルコ 12:33;cf.ローマ 12:1、2テモテ 4:6)
- ③ イエス、死と復活を預言する(18-22節):宗教とは自己を生かすこと、キリストの信仰とは死と復活を経ることを→自己ではなく、キリスト!
- ④ 人の証しを必要としないイエス(23-25節):人の心の真実(エレミヤ 17:9-13)→しかし私たちがあえてイエスの証人として下さった(使徒 13:31、cf.黙示録 17:6)

### ■暗証聖句

2:16 このような物はここから運び出せ。わたしの父の家を商売の家としてはならない。

2:19 イエスは答えて言われた。「この神殿を壊してみよ。三日で建て直してみせる。」

2:21 イエスの言われる神殿とは、御自分の体のことだったのである。

2:25 人間についてだれからも証ししてもらう必要がなかったからである。イエスは、何が人間の心の中にあるかをよく知っておられたのである。

2:2 この方こそ、わたしたちの罪、いや、わたしたちの罪ばかりでなく、全世界の罪を償ういけにえです。

12:33 そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。』

13:31 このイエスは、御自分と一緒にガリラヤからエルサレムに上った人々に、幾日にもわたって姿を現されました。その人たちは、今、民に対してイエスの証人となっています。